

報道関係者各位

2002年 12月 11日
杏林製薬株式会社
東京都千代田区神田駿河台2-5
(コード番号4560 東証第1部)

糖尿病治療剤『KRP-297』の 米国における開発の進展(第 相臨床試験開始)について

杏林製薬株式会社(社長 荻原郁夫)が創製した糖尿病治療剤KRP-297(開発コード、メルク社コード:MK-767)につきまして、導出先である米国メルク社(CEO:R.V.Gilmartin)は、このたび第 相臨床試験へと開発ステージを進めました。

米国メルク社が実施した第 相臨床試験では、KRP-297は2型糖尿病患者において、血糖値及びHbA1c、TG(トリグリセリド)、LDL-Cの低下作用とHDL-Cの上昇作用を示すことが確認されました。また、KRP-297を投与した患者の大半において安全性と良好な忍容性を示しました。

近年、ライフスタイルの著しい変化や高齢化の進展を背景に糖尿病患者数は拡大を続けております。現在の糖尿病患者数は、全世界でおよそ15,000万人、日本国内で約700万人とのデータもあります。糖尿病の治療効果の向上は世界的なニーズであり、有用な薬剤の開発が求められております。KRP-297は、インスリン抵抗性改善作用に加えて、糖尿病に伴う脂質代謝異常にも効果を有する新世代のインスリン抵抗性改善薬として、高い有用性が期待されております。

当社では、重点研究領域のひとつに代謝性疾患(糖尿病など)を位置付け、国内外の企業と積極的な共同研究・開発を進めております。KRP-297は、国内外で順調に開発が進展しており、できるだけ早期に全世界の糖尿病治療に貢献してまいりたいと考えております。なお、日本においては現在第 相臨床試験中です。

以上

この件に関するお問い合わせ 杏林製薬株式会社 企画室 TEL:03-3293-3414 FAX:03-3293-3450
